JTB旅ホ連 6支部連合会（&沖縄支部・ホテル部会）の15年度事業

JTBの宿泊販売4200億円の達成に向けて、JTB旅ホ連の6支部連合会や沖縄支部、ホテル部会はどう動くのか。各会長、支部長、部会長に①支部連合会（支部、部会）の2015年度事業の概要②JTBとの連携に関する考え③会長（支部長、部会長）としての意気込みや、総会に向けてのメッセージ――などについて聞いた。

北海道支部連合会

地域資源に磨きかける

大西雅之会長

今年度、北海道はJTBの上期施策「エースJTB重点販売地区」で好調なスタートを切っている。この施策をテコにさらなる目標へ挑戦し続けるために、JTB北海道、JTB国内旅行企画、旅ホ連支部・幹事支店の三位一体で、以下の事業を展開していく。

一つ目は、昨年度に着手した「着地型商品開発支援事業」の定着だ。会員施設を中心に地域の関係機関やJTBの造成個所との連携で地域コンテンツを発掘し、訴求力のある商品化へつなぐ取り組みは、まさに魅力ある観光地づくりに寄与する活動で、今までの蓄積を生かし2016年度までの2年計画で取り組む。

二つ目は、拡大しているインバウンドマーケットへの対応だ。JTB北海道を中心にオール北海道で進める「北海道アジア交流促進事業」へ、昨年度に続き協力していく。アジア5カ国の代表10人による北海道周遊クイズ番組で収録されたロケ番組と「冬」観光の魅力が、テレビ媒体を通してアジア9カ国、数億人に紹介された。2年目の企画は「秋」観光の魅力を発信する狙いを持っている。

また、旅ホ連本部支援の「インバウンド・タイアップ作戦」（2年目）では、海外FIT向け着地型ツアーの新コースを開発し、海外支店・旅行博のリアルな場と「JAPANiCAN」「GENESIS」のネット上での販売を拡大していきたいと考えている。

三つ目は、いよいよ来年3月に函館に念願の新幹線がやってくる。開業前後の各種DC計画や「杜の賑い北海道in函館」（16年9月25日開催決定）の開催準備が進められている。地元自治体はもとより、北海道観光振興機構など関係機関のご協力もいただきながら、取り組んでいく。

JTBの高橋社長が新年の挨拶の中で、黄金の時という希望に満ちたメッセージを出された。北海道支部連合会一丸となり、実現に向け邁進していこう。

東北支部連合会

「日本の旬」で真の復興

岡崎彌平治会長

東日本大震災から4年が経過し、東北における復興需要も一段落した今、地域差はあるものの、観光目的のお客さまも増え、真の意味での復興に一歩一歩近づいている。

しかしここ最近、一部地域で自然災害（火山活動ほか）への警戒から、大きな影響が出ているが、お客さまへの正確な情報提供に努力し、影響を最小限にとどめるよう努力していく。

さて2015年度上期は、「桜」「新緑」「夏祭りと花火」をテーマとした「日本の旬東北」キャンペーンが実施される。このキャンペーンは福島DC（4～6月）と連動し、体験・交流型観光への質的転換を図りながら、新たな東北の魅力を発信し、遠来からのお客さまに出会いと感動を感じていただくキャンペーンで、この「日本の旬東北」を旅ホ連会員施設およびJTBグループ各社の皆さまと共に大成功に導き、宿泊券販売目標達成はもとより、東北の観光復興の真のスタートとして位置づけていく。

また、今後のインバウンド拡大に向け、受け入れ態勢の整備などを進める他、「日本の旬東北」で築き上げた、体験・交流型商品をブラッシュアップし、より多くの諸外国の方が東北に来ていただくよう、GMT・行政諸団体と連携を図りながら事業展開を行っていく。

最後に、東北支部連合会は、「宿泊増売」「地域振興・観光振興」「人財育成」「組織強化」を4本柱とし、JTB東北、JTB国内旅行企画東北事業部、東北支部連合会が強固な連携を図り、三位一体となった事業を推進していく。

関東支部連合会

委員会、部会がベース

竹内順一会長

2014年度は、旅行業界にとって「消費税増税」という、逆風の中でのスタートとなったが、一昨年の富士山に続き、群馬県「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されるなどの話題もあり、訪日インバウンド含め、首都圏・関東地区に数多くのお客さまが訪れる一年となった。

2015年度は、昨年に引き続き、円安や海外政情不安などの影響により、海外旅行から国内旅行へシフトすることが想定される。国内レジャー・旅行への意欲は持続されており、国内旅行全体において堅調に推移するとの見通しである。このような環境下において、関東支部連合会では、さらなる「宿泊増売」に向けて、今年度も各種委員会、部会活動をベースに経済団体としての活動を会員一丸となり取り組んでいく。

具体的には、事業計画を着実に実行に移すことを着実に実行に移すことなるが、「活発な支部活動、魅力ある地域づくり」の実現へ向け、支部・地域主体による支部活動を徹底支援していく考えである。各委員会活動では、各支部から選任された新たなメンバーを加えて、各支部が有益な情報発信を目的に活発な活動を継続していきたい。

2年目を迎えるJTB国内旅行企画、各販売事業会社との連携をさらに強化し、「魅力ある素材・商品の提供による、新たな価値と需要の創造」を目指し、宿泊販売目標を達成すべく、地域交流事業、訪日インバウンド事業の新領域にも挑戦を進めていく。今年度も、関係各位のご協力をお願いしたい。

中部支部連合会

JTBと共に着地戦略

濱田政利会長

中部支部連合会のエリアは、太平洋と日本海側の全く異なった気候風土を持ち、その間に北アルプス、南アルプス、中央アルプスと日本の屋根を抱く、まさに日本の縮図であり他に類のない魅力的な自然景観や伝統文化を保持している。その優れた観光地にも磨けば光る素材が多く眠っている。それを光り輝かせてこそ観光地の付加価値が出てくる。年々増加するFITへの対策にもなる。

JTB中部本社の地域交流プロジェクトには優秀な人材が配属されて各地で実績を上げている。国の地方創生プロジェクトが少しずつ具現化している中、各支部で行政や地元関係者と連携しながら地域資源を発掘し、JTBグループと共に着地コンテンツ戦略を推し進める必要がある。

今年の話題は北陸新幹線である。東海道新幹線から半世紀遅れて金沢まで開業となった。これにより首都圏や沿線都市から北陸への交流人口が大幅に増加し、これまでの在来線の3倍の乗車人数となった。

2020年までは訪日インバウンドを含むグローバル人流のさらなる拡大と、東京オリンピック、パラリンピックに関連したさまざまなビジネスチャンスが生まれる「黄金の時間」である。今年はその第一歩であり、下期には日本の旬が北陸で展開される。この豊穣の時をJTBと共に光り輝くものにしたい。

旅ホ連の活動は「宿泊増売」「人財育成」「組織強化」である。今年度から加えられた「地域振興・観光振興」を四つ目の柱として取り組んでいきたい。

西日本支部連合会

訪日客、地域活性が重点

藤本正孝会長

2015年度の消費全般は節約ムードが継続、円安基調は続き、訪日旅行客は高好環境となると想定されているが、日本人旅行客は円安や国際情勢の影響で海外旅行から国内旅行にシフトすることが考えられ、また、訪日外国人客も1500万人に達する見込みであり国内旅行需要の拡大が期待されている。

そこで、当西日本支部連合会としては、五つの基本方針を定め、その中でも、宿泊増売を目指す上で、「増加する訪日外国人の受け入れ態勢の整備」と「地域の活性化」を重点推進項目として活動していく。

まず、訪日外国人の受け入れ態勢の整備については、西日本支部連合会管内は2府13県の広域にわたっているため、訪日外国人客の受け入れについては地域差がある。そこで、ホテル部会を中心に訪日外国人客の受け入れ態勢について、情報共有することにより標準化を図りたいと考えている。

また、地域の活性化については、訪日外国人客の受け入れ態勢にも関連するが、今年度は「地域振興・観光振興」を新たに活動方針に加え、JTBの47DMC戦略と連動した支部連合会広域での地域交流事業の創出支援や地域の魅力づくりと情報発信を行い、観光客の誘致につながる事業の一つとして取り組んでいきたい。

その一つとして、各地域で、各地の隠れた観光素材の発掘と現在の観光素材をブラッシュアップし、併せて国内外のお客さまに情報発信を行っていこうと考えている。

当連合会としては、「各支部の活発な活動と元気な地域づくり」の基本テーマに則り、JTBグループと協力して、支部活動をさらに活性させ、宿泊増売につなげられるよう推進していくこととしたい。

九州支部連合会

魅力ある地域づくり実現

豊田康裕会長

2015年度、九州支部連合会は、JTBの推進する47DMC戦略のもと、JTB国内旅行企画と支部・幹事支店および JTB九州との三位一体の連携を一層強化し、地域素材を掘り起し、磨き上げ、商品化への支援を行い、新たに加わった基本方針の「地域振興・観光振興」を強力に推し進めて「魅力ある地域づくり」の実現を目指していく。

また、魅力ある地域づくりの支援活動と次世代経営者の人財育成、事業運営の課題解決と革新を推進するために若手会員を中心とした「未来委員会」を新たに発足する。

連合会の各種委員会活動とJTB九州観光ネットワーク推進協議会（通称・観ネット）との活動もさらに連携強化させて、九州の誘客活動に全力で取り組んでいく。

また、10回目を迎えたJTB九州の地域活性化プロジェクト「新九州物語」。今年は、3月に大分市と宮崎市で全線開通した東九州自動車道を題材に「大分・宮崎」を下期に実施する。「おんせん県おおいた」「神話のふるさと宮崎」「食文化」「雄大な自然」を題材に、沿線観光地の地域資源・着地型商品による両地域への旅行需要喚起と、旅行商品を通じた両地区のプロモーション、周遊型観光による体験・交流の創出とその定着化を目指して取り組んでいく。

関係諸機関の皆さまと協力し、さらなる九州ブランドの確立に向けた取組みを推進していきたい。

沖縄支部

国際水準のサービスへ

平良朝敬支部長

2014年、沖縄県入域観光者数は717万人と過去最高を更新し、中でも外国人観光客数は98万人に達した。JTB沖縄は中国からのクルーズ客に積極的に取り組み、既に去年の集客を上回る見込みだ。経済成長が著しいアジア諸国から訪れる外国人観光客は今年も増加傾向にあることは間違いないが、さまざまな課題と問題が見えてきている。

宿泊施設の受け入れ態勢、通訳、インフラ整備、医療体制などの課題や課題を産官学一体となって解決していき、訪れるお客さまの満足度を高め、国際水準のサービスが提供できるように、沖縄支部として積極的に取り組んでいく。

国内のお客さまには、主要ホテルに「エースJTB」ラウンジ・カフェを設置し、らくらくチェックインプランや、空港でのレンタカー待ち時間短縮など、沖縄観光の快適さを追求していくため、JTBと連携し、宿泊券販売目標288億円を達成させるために、側面からサポートしていき、主力商品「エースJTB」の販売促進に支部として全力で取り組む。

JTBが奨励する伝統文化保護育成や地域活性化事業を、会員全員で地元の利を生かして取り組む。連続開催33回目を迎える「杜の賑い沖縄」を三位一体で取り組み、お客さまには感動を与え、スタッフは感激を覚えるイベントになるよう、より一層連携を蜜にし、沖縄の魅力を創っていく。

ホテル部会

旅文化としてのホテルに

戸村純三部会長

2015年度はJTBと連動して、ホテル利用の楽しみ方を提案して増売につなげる。

多くのインバウンドのお客さまがホテルに宿泊しているが、旅慣れた外国人旅行者は日本人旅行者と比べてホテルの施設、機能を理解し上手に利用いただいている。コンシェルジュとのよろずの相談に始まり、レストラン・バー、プール・スポーツジム、エステサロンなどの館内施設で寛ぎ、数日間の滞在を無駄なくリフレッシュして観光を楽しんでいる。旅行文化としてのホテル滞在の楽しみ方をJTBと連携して日本の皆さまにしっかりと伝え、新たな需要を創造したい。

ホテル部会も地域の特性に応じた活動をJTBと連動して活発化させている。個々の企業戦略に基づいて経営するホテルの業界において、従来は情報共有や地域での協同企画など馴染まない一面もあったが、ホテル間の交流が進み、JTBとともに商品開発や課題解決に向けた取り組みが進展するにつれ、地域でのホテルの役割もクローズアップされ、旅館と連携して地域の魅力づくりに期待されている。

本部のホテル部会では、地域のさまざまな取り組みが報告され、各地域に持ち帰ってブラッシュアップした企画をJTBとともに練り上げてもらっている。地産地消の食材をメインとした朝食、ワイン・地酒の宣伝キャンペーン、ホテルバー利用推奨の協同企画、コンシェルジュの新たな活用と役割、地域料飲店とのコラボレーション企画などのさまざまな例が報告され、今後はリスクマネージメント、雇用・人財育成などの経営課題、ハラルを始めとするインバウンド受け入れなどの研究課題にも本部、地域において取り組みが検討されている。ホテル会員の新規加入は堅調で、ホテル会員の声を旅ホ連活動に反映させ、その期待に応えたい。

JTB旅ホ連特集

バラエティーストア
おきなわ屋
0120-685015
http://www.okinawaya.co.jp

JTB商事　夏のおすすめ商品

JTB商事の自信作!
「ローラ アシュレイ バスアメニティ」！
只今 独占販売中です！

ホテルバスアメニティ
ローズの香りに包まれる至極のバスタイム！
薔薇の咲き誇る優雅なローズガーデンの香りが、
ラグジュアリーなホテルステイを演出します。

イギリスで誕生し、半世紀以上も世界中で愛され続ける、「ローラ アシュレイ」。
美しいパッケージのバスアメニティは、
イングリッシュガーデンのローズをイメージした、さわやかで気品あふれる香りです。
ホテルステイのひと時を、是非ローラ アシュレイと共に。
Manufactured by IVRESSE CO., LTD under sublicense from Laura Ashley © Laura Ashley 2015

パンフレットのご用意がございます。
欲しいものが必ず見つかる！
今年もやります！夏の大感謝祭！
JTB 感動のそばに、いつも。

夏の大感謝祭
お得な情報が満載！アウトレットも豊富！

JTB商事　夏の大感謝祭　2015
定番商品から
イベント商品まで

資料請求・お問い合わせは、ＪＴＢ商事 旅館ホテル商事部 まで。　Tel.03-6832-4710
※実際の商品の色とは印刷の関係で多少異なる場合があります。
※商品及びパッケージデザインは変更されることがあります。